

令和元年度事務事業評価シート(平成30年度実績)

◎基本情報

Table with columns for 事務事業名, 担当部署, 健康福祉部 人権推進課 人権福祉センター, 総合計画体系, 根拠法令 計画など, 鳴門市人権条例・鳴門市隣保館 条例, 事業期間, 開始, 昭和 49 年度, 終了, 未定.

◎事業概要(PLAN)

Table with columns for 事業対象, 事業目標, 事業計画, 成果目標, 指標名, 29年度, 30年度, 元年度, 2年度, 3年度, 単位.

◎実施結果(DO)

Table with columns for 事業実施内容, 事業実施手法, 指標名, 29年度実績, 30年度実績, 元年度目標, 2年度目標, 3年度目標, 単位, 今年度の進捗状況, 未達成, 事業全体の進捗状況, 未達成.

(千円)

Table with columns for 財源内訳, 年度, 区分, 国, 県, 地方債, その他特定財源, 一般財源, 事業費計, 人件費, 総人件費, 総事業費.

事業費推移	年度	29年度決算	30年度決算	元年度	2年度	3年度
	事業費	835	903	1,136	1,136	1,136
	うち一般財源	269	226	350	350	350
	人件費	4,863	4,723	4,723	4,723	4,723
	総事業費	5,698	5,626	5,859	5,859	5,859

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値	所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった	人権福祉センターが使用不能のため、展示作品数や人権文化祭の来場者数が減少したが、来場者アンケートでは85%以上の満足度が得られているためB評価とした。
	効率性	B:概ね効率的だった	開催時間の延長や代替場所開催により業務量は増加したが、人員を効率的に配置し、対応した。
②成果に対する評価	指標名	人権文化祭来場者数	人権福祉センターの耐震改修工事による使用不能に伴う市民会館やうずしお会館での代替開催を周知したが、展示作品数はほぼ確保したものの、人権文化祭の来場者数が目標の半分を下回ったため、D評価とした。
	目標	9,500 人	
	実績	4,240 人	
	評価	D:目標を達成できなかった	
③総合的な評価		C	活動指標だけでなく成果指標も目標には達しなかったが、来場者アンケートでは、満足度が高い状況のためC評価としたい。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	平成28年12月に部落差別解消推進法が施行され、行政の責務が明確にされる中、差別落書きやインターネットへの悪質な書き込み、障がい者問題などさまざまな人権問題においても、人権侵害の事象が発生しており、なお一層の人権教育・啓発が必要であることから、今後も人権文化祭開催事業を継続すべきである。 また、隣保館デイサービス事業などで、地域全体に開かれたコミュニティセンターとしての役割を推進し、市民全体に開かれた人権文化祭の運営形態が求められている。平成29年10月に鳴門市隣保館運営審議会から答申が出されたことから、答申内容を反映できるような人権文化祭の運営形態を検討していく必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	2
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	R1年度	①少子化などによる学校の負担軽減のため、電子データの活用などの検討とともに作品数を見直しコンパクトでも魅力ある人権文化祭を行う。 ②耐震改修工事の終わった人権福祉センターのリニューアルオープン記念式典を行い、市民全体へ人権福祉センターを周知し、利用活性化を図り、人権文化祭の来場者数回復につなげる。 ③市内中心部での初の代替開催は、集客の利便性に優れた立地環境にありつつも、集客数が目標の半分であったことから、市中心部を会場とした人権文化祭の開催については、今後関係団体と検討していく。			
	R2年度	より一層の人権意識の普及・高揚を図るとともに、来場者数を維持しつつ、人権文化祭開催イベントとして同和カルタ大会に加え、来場者が体験・参画できるようなイベントを企画するなど、新たな事業を検討する。			